

2022年



# 願い実現の年へ

日本共産党

「感染症対策の拡充を」「困っている人への支援を強めて」

新年、おめでとございます。新型コロナウイルス感染症が世界を席巻し、今年もたたかいが続きます。一日も早く収束させるため、みなさんと力を合わせます。

アベ・スガに続き、昨年10月に誕生した岸田内閣も、改憲や軍備拡大の姿勢を強めています。一方、国民の世論と運動が政治を前向きに動かす事例も。年末、子育て世帯の給付金では、自治体や政府を動かし、市内でも現金給付が実現しました。日本共産党は、政治を良くするために、国民と草の根でつながり、野党の共闘をさらに深化させ、夏の参議院選挙で巻き返しを図る決意です。



12月19日、おたかの森駅前での宣伝に参加しました

流山市は昨年人口20万人を突破。TX開通から16年で5万人が増えました。急激な人口増加に対し、保育園、学校、病院など市民生活の基盤づくりが追いついていません。また、児童虐待に関する相談は2019年度比で1.8倍化し、激増しています。安心して子どもを産み育てられるまちに、教育の環境を改善してほしい、老後をささえる介護サービスの拡充を：市内の隅々で湧き上がる声、願い実現に力を注ぎます。みなさんのご支援・ご協力をお願いします。



12月14日、市長に対しワクチン3回目の接種等を要請しました

コロナ対策

## 日本共産党市議団の実績

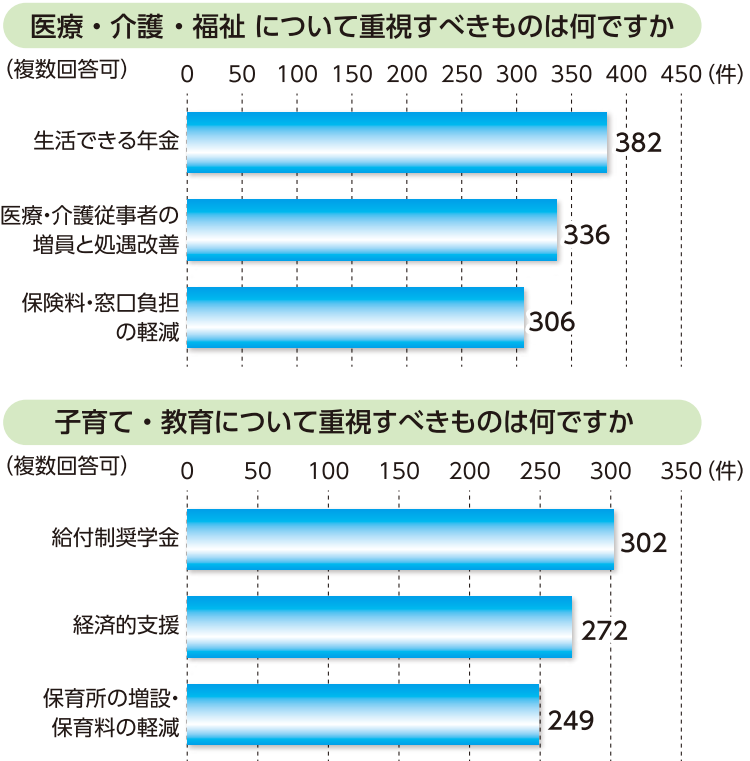
2020年1月、県内初の新規感染者が確認されたのを受け、党市議団の市長要請は、20年2月～21年12月までに18回。この間、議会質問や提案にとどまらず、市内の医療機関との懇談や医療従事者の対市要請、感染病床の視察、県要請など全力を尽くしてきました。

- 無料検査の実施
- コロナ患者受入れ病院への補助
- 医療等従事者への慰労金支給
- 市検査センターの立ち上げ
- コールセンターの通話料無料化
- 高齢者施設でのクラスター対策
- 飲食店テイクアウト支援
- 学童保育支援員への慰労金支給
- 超低温冷凍庫の設置拡大（1ヶ所→12ヶ所）
- 集団接種会場の拡大（東部地域限定2ヶ所→市内全域最大6ヶ所）



今後どんな感染症が出て、必ず封じ込め、市民の命と健康を守り切る立場で全力をあげる決意です。特に、ワクチン3回目接種の前倒しに向けた体制強化、救急を含めた民間医療機関の充実、県立保健所の市内誘致、市保健センターの狭隘解消とリニューアルが喫緊の課題です。ご一緒に力を合わせましょう。

12月27日までに714通！ アンケートへのご協力ありがとうございます



日本共産党流山市議団が取り組んでいる“暮らしのアンケート”に700通を超える意見や要望が寄せられています。まだの方は是非、ご協力をお願いいたします。インターネットでの回答も可能です。

